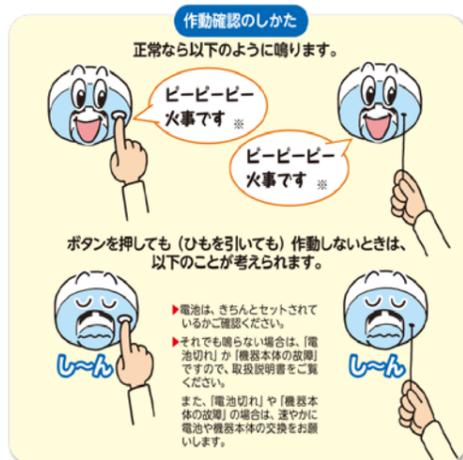


消防瓦版纏

まとい No.382
 富良野広域連合富良野消防署占冠支署
 56-2119

住宅用火災警報器の設置状況調査の御礼



住宅用火災警報器の設置状況調査の対象となった世帯の皆様、令和2年6月8日から6月10日に実施した本調査にご協力いただき、ありがとうございました。

さて、今回調査した結果、住宅用火災警報器の設置率は92%、条例適合設置率は77%となりました。全国平均(令和元年6月1日時点で設置率82.3%、条例適合率67.9%)を大きく上回りました。その一方で、約半数の世帯が設置から10年経過していました。住宅用火災警報器は古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるため、とても危険です。設置から10年を目安に交換しましょう。

まだ設置していない世帯は寝室及び階段(寝室が2階にある場合のみ)への設置をお願いいたします。

救急出場状況(6月分)

急病	2件(1人)
6月計	2件(1人)
累計	68件(59人)
※()内は搬送人員	

地域とともに コミュニティ・スクール情報 ~トمام学校~



今年には新型コロナウイルス感染症への対応の臨時休業等のため、予定していた授業や行事の時期など内容を大きく見直すことになりました。6月16日(火)には特別活動の勤労生産・奉仕の行事として、学校花壇の全校花植えを行いました。学校環境美化のために花壇を整備する活動を通して、勤労や社会奉仕の尊さや意義を実感することが目標です。植える花は、子供たち一人ひとりが家庭で保護者と相談して決めました。種類は、マリーゴールド、サルビア、ペゴニア、日々草、ロベリアの5種類で約300本。本校の学習支援員でもあり占冠村学校支援ボランティアの平塚支援員から、花の植え方、水やりの仕方などを学び、全児童生徒8人で協力して、円形の綺麗な花壇を完成させることができました。今後は、毎週水曜日の登校後に花壇の草抜きを児童生徒・教職員全員で行い、花の手入れをしていきます。トمام学校の前を通る機会がありましたら、是非、トمام学校の花壇をご覧ください。



6月17日(水)には、平塚支援員と本校の公務補で占冠村学校支援ボランティアである安居公務補を講師として、山菜学習を行いました。学校の周りを歩き、山菜の見分け方や名前を教わってもらい、ウドやフキ、ヤマブドウの葉などをたくさん収穫しました。今年にはコロナ感染症予防のため児童生徒による調理実習は行いませんでした。収穫後、安居公務補に調理してもらい、給食の時間にみんなで初夏の味覚をおいしく味わいました。

トمام学校は、これからも、保護者や地域の方から学ぶ学習の機会を大切に、「地域とともにある学校」をめざします。

占冠村教育委員会 56-2182

こんにちは 保健師です

このコーナーでは、健康や保険制度などの情報をお届けします。困りごとがありましたら、お気軽にご相談ください。
 住民課保健予防担当 56-2122

占冠村はメタボの人が多い?

今回は、村で実施している健診の結果と医療費の傾向から、村民の皆さんの健康の現状についてお知らせします。

ここでの各種データは、平成29年から令和元年までの健診結果・医療情報の平均値(いずれも国民健康保険加入者)を、北海道・国全体の平均値と比較したものです。

まず、特定健診でメタボに該当した人の割合です。グラフ1のとおり、占冠村では道や国に比べてメタボに該当した人の割合が高くなっています。

『メタボリックシンドローム(メタボ)』とは、腹部の内臓の周囲に脂肪が蓄積し、さらに、血圧、血糖値、血中脂質のうち2つ以上が基準より高くなっている状態です。

メタボは、動脈硬化を進行させ心臓病や脳卒中、慢性腎臓病などの重い病気の発症リスクを高めますので、早期に改善することが大切です。

次に、メタボの人が多い背景を見ていきます。健診の質問票で、飲酒の頻度を調査するとグラフ2の結果となりました。村では、「毎日」「時々」飲む人が半数を超えています。

飲酒により高血圧の人が増えたり、中性脂肪が増加することが分かっているため、1回の飲酒量を減らす、週に1~2日の休肝日を入れるなど、上手にお酒と付き合しましょう。また、村では週3回以上朝食を抜く人の割合が高く、食事のバランスが取りにくくなっていることもメタボ該当者が多い原因と考えられます。

最後に、村では患者全体の中で生活習慣病の割合が高い傾向にあり、特に、糖尿病の合併症である糖尿病性の腎症、網膜症、神経症の患者数が多くなっています。これらの合併症を持っている人を合計した数(延人数)を北海道、国と比較した表がグラフ3です。

多くの皆さんは、介護が必要のない元気でいられる期間『健康寿命』を長く保ちたい、と望んでいると思います。そのためには若い年代から動脈硬化が進まない生活を心がける必要があります。

実は、占冠村の健診受診率は道内・国内でも上位の高さです(グラフ4)。

このことは、村民の皆さんの健康に関する意識が高いことを表しています。

健診の結果を見たら、「自分にとって、動脈硬化をストップさせる行動は何か?」と考え、実行に移せたら良いですね。

